

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/11/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要不安で80ドル、更に75ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=74.91ドルまで値下がりして7月20日以来の安値を更新した後、77ドル台前半まで切り返す展開になった。世界経済の減速による石油需要の悪化リスクを織り込む展開が続いている。80ドルの節目割れでチャート主導の売りも膨らみ、一時75ドル台を割り込んだ。ただし、週末にかけては下げ過ぎ感から安値修正の動きも見られ、77ドル台を回復している。

中東では依然として激しい戦闘が続いているが、原油市場の関心は薄れている。11月7日にイスラム組織ハマスがイスラエルに対して攻撃を開始してから1か月が経過したが、結果的には供給障害は発生していない。こうした中、原油相場は需要不安の織り込みが続いている。何か具体的な根拠がある訳ではないが、漠然とした需要不安の織り込みが優勢になっている。世界経済の減速懸念が強く、石油需要の鈍化が進むのではないかと警戒感が織り込まれる展開が続いている。11月5日にサウジアラビアとロシアが供給削減策の延長や規模拡大に含みを持たせる声明を出しているが、その後は新しい動きなどは報告されていない。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫は、システム更新作業のため発表が行われていない。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要不安の上値圧迫が続くが、80ドル割れは下げ過ぎ

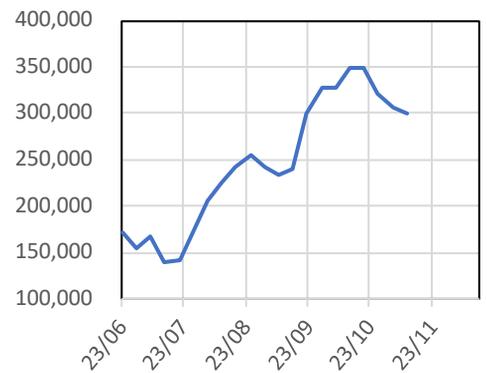
専ら需要不安の織り込みが優勢になっているため、この流れに修正を迫るような動きの有無が焦点になる。漠然とした需要不安の早期解消は難しく、原油相場の反発余地は限定される。一方で、現時点では本格的な需要環境の悪化、在庫の急増などが発生している訳ではなく、80ドル台を完全に割り込んだ現行価格水準は下げ過ぎ感や値ごろ感も強い。短期トレンドは依然として下向きだが、徐々に下げ渋る展開になろう。

基調転換のためには何らかのきっかけが求められるが、今週は13日に石油輸出国機構（OPEC）、そして14日に国際エネルギー機関（IEA）が最新の月報を公表する。ここで世界的な在庫減少見通しが追認されると、需要不安を背景とした値下がりブレーキが掛かる可能性がある。

また、11月26日にはOPECプラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）が開催される。現在はサウジアラビアが日量100万バレルの減産、ロシアが30万バレルの輸出削減を年末まで継続する方針が打ち出されているが、期間の延長や規模拡大の可能性も示唆されており、更に具体的な動きがみられると下げ止まる可能性がある。一部産油国からは、OPECプラス全体の生産枠見直しの必要性も指摘され始めている。JMMC開催日が近づく中、産油国サイドの動きが活発化する可能性も想定したい。

一方、11月14日には10月米消費者物価指数が発表される。米金融政策見通しを巡る議論への影響が大きいだけに、同統計発表後のドルや株価の動向には注意が求められる。

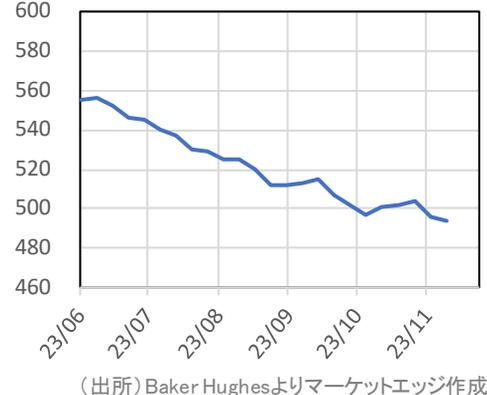
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

